

2022 第1回 横浜市記録会 競技注意事項

1 規 則

本大会は2022年(公財)日本陸上競技連盟規則並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。

2 練 習

練習は補助競技場で行うこと。フィールド競技の練習は招集完了時刻(競技開始40分前)を過ぎてから、競技場内で行うことができる。特に投てき練習は、役員の手指示に従って、試技順に競技場内で行うこと。

※競技場周辺での練習は禁止する。

3 競技場

- ① 競技場の開門時間は、両日ともに7時30分である。
- ② 本競技場は全天候舗装である。トラックの厚さは約13mm、フィールドの厚さは約18mmである。
- ③ 走路の保全と競技者の安全のために、競技規則143条を参照すること。
- ④ 競技用シューズについてはWAの新規定を適用する。

4 招 集

招集場所は、スタート地点(フィールド競技は現地)とする。現地の招集終了時間に遅れた者は、欠場とみなし出場を許さない。トラック競技に参加する選手は事前に100mスタート付近スタンド下の招集係へ行き、自分の腰ナンバーカード(自分のレーンナンバー)を受け取り、右腰や後方に安全ピンでとめておくこと。また、男子5000m・男女3000m・男女5000mW・男子3000mSC出場者は特別ナンバーカードも受け取り、胸と背に安全ピンでとめておくこと。安全ピン12本を各自必ず用意すること。

5 アスリートビブス(ナンバーカード)

- ① アスリートビブス(ナンバーカード)は、本部にて配付する。各所属ごとに競技開始前までに受け取りに来ること。
- ② アスリートビブス(ナンバーカード)は、2枚をユニホームの胸と背に結着すること。ただし跳躍種目は1枚を胸または背に結着するだけでもよい。主催者が配付した状態で使用し、切ったり折ったりしないこと。
※トラック種目は、招集場所で渡されるレーンナンバーカードを右腰に結着すること。今回はフィニッシュ後、係に返却しない。
※男女3000m、男子5000m、男女5000mW、男子3000mSCについては、招集場所で特別ナンバーカードを配付するので、これを結着すること。今回はフィニッシュ後、係に返却しない。

6 トラック競技について

- ① トラック競技は、すべて電気計時とする。トラック競技のスタートは1回目の不正スタートで失格とする。
※スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告(イエローカード)を与えられる事がある。
※イエローカード(以後、YCと称す)に関して、当大会では国内ルールを適用し、以下の様に運用する。
(ア)第162条5の規定により(a)(b)(c)いずれかの行為を行った時、YCを提示し警告を与える。この場合他種目との合算はなく、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。
(イ)同一種目で2回のYCを受けた競技者は、当該種目を失格とする。但し、それ以後の他の種目の出場は可能である。YCの累積は、該当種目のみに適用する。
- ② トラック競技の組走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに示す。
- ③ 800mについては、100mまでのセパレートスタートを採用する。
- ④ 男女3000m、男子5000mは段差スタートとする。

7 リレー競技について

- ① リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を作成し競技開始1時間前までに競技者係に提出すること。
- ② リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニホームを着用すること。
- ③ 4×100mRでは1人1ヶ所に限りマーカーを使用することができる。

8 フィールド競技について

- ① バーの上げ方は、各審判主任が指示します。各種目最終点呼時に確認すること。
- ② フィールド種目(走高跳・棒高跳を除く)はトップ8決定後、さらに3回の試技を行う。
- ③ 走幅跳・三段跳のピットはトラック側をAピットとする。トップ8はABそのままに使用する。

9 記 録

各種目の競技結果は、アナウンスのほか100mスタート後方の掲示板に掲示する。

10 用 具

- ① 競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポール、砲丸、円盤、やり、ハンマーについては検査を受け承認されたものに限り個人所有のものを使用できる。
- ② 検査は、各種目競技開始1時間前までに用器具庫前にて行う。
※検査と招集とは違うものなので混同しないように注意すること。

11 抗 議

競技規則146条によって行う。

12 その他

- ① 参加各校の顧問は、必ず競技役員または補助役員を行うこと。
- ② 8時30分までに参加各学校から2名以上の補助員を出し、本部前に集合させる。
- ③ プログラムにミスがある場合には本部庶務まですみやかに届け出ること。
- ④ 競技中の疾病、傷害などの応急処置は主催者が行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。
- ⑤ 本競技場メインスタンドでのテントの張り出しは禁止する。
- ⑥ メインスタンド最前列への部旗、横断幕等の張り出しは禁止する。
- ⑦ 競技運営に支障をきたす応援はつつむこと。(特にフィールド競技中のグループ応援等)
- ⑧ 競技場内での付添い及び応援は一切禁止する。
- ⑨ 更衣室は更衣のみに使用し、シート等を敷くことを禁止する。**※レストハウスは一般の方々も使用する。**
- ⑩ 競技運営上、著しく遅れた選手に対して競技を中止させる場合がある。
- ⑪ ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技区域内で所持または使用することは助力とみなされ許可しない。(競技規則第144条3 b)
- ⑫ 競技場内に商品名、会社名のついた物を持ち込むことは、アマチュア資格に抵触するのでつつむこと。
- ⑬ 競技終了後は、自席を清掃すること。なお、ゴミ用のビニール袋が必要な場合は本部まで取りに来ること。
- ⑭ 貴重品は各自で保管し、紛失には十分注意すること。
- ⑮ 各校補助員以外の生徒も積極的に準備、後片付けに参加協力すること。
- ⑯ 本部裏の通路、及びゴール付近1・2番倉庫前は通行の妨げになるのでシートやマット等で占有しないこと。
- ⑰ ゴミについては各自持ち帰りを原則とする。
- ⑱ 三ツ沢公園では競技場外にテントシート等で占有スペースを設置しないこと。

☆感染症対策について

- ・横浜市陸上競技協会ホームページを確認のうえ「参加状況報告書」を必ず提出すること。
- ・当日、学校受付でリストバンドを人数分配付するので、必ず見えるところに付けること。

☆学校受付について

各参加校の引率顧問の先生方は大会当日8:00~8:20の間に本部審判受付にて学校受付を行うこと。
※顧問の引率がない場合は、高体連試合参加規定の通り選手の出場は認められない。

☆安全対策について

- ・競技会に参加の競技役員、選手、補助員以外はトラック、フィールドに立ち入らないこと。
- ・本競技場、サブトラックでは決められたレーンを守り常に安全確認を怠らないこと。
※1, 2, 3レーンは周回練習に使用し5, 6, 7, 8レーンはスプリント練習等で使用する予定である。ただし、状況により変更を指示することもある。
- ・周囲の安全を確認し、審判員・顧問の指示に従い事故防止を何よりも優先すること。
- ・トラック、フィールドともに横断する際には周囲の安全確認を行うこと。
- ・跳躍競技での「後追い助走」は危険防止のため禁止する。
- ・ウォーミングアップの際、事故防止の為に、必要な声の掛け合いを行うこと。
- ・物を持った状態での空ターンや助走練習は禁止する。公式練習以外は行わないこと。
- ・投てき物(やり等)の回収の際も周囲の安全に十分に配慮すること。
- ・チューブ、メディシンボール等を使用しての練習は安全面から行わないこと。

☆貴重品の管理について

- ・大会開催中の盗難被害が多発しているため、貴重品の管理については各校で対応をお願いしたい。